

エイ・エックス（株）山木戸工場 御中

土質試験結果報告書

試料名：アスファルト再生クラッシュラン（ARC-40）

採取場所：新潟市東区山木戸地内

製造者名：エイ・エックス（株）山木戸工場

令和4年12月

 **グリーン・コンサルタント株式会社**
北信越営業所

1. 試験目的

本報告書は、アスファルト再生クラッシャーラン（ARC-40）材の性状試験を行い、その結果をとりまとめたものである。

2. 試験概要

試験概要については、以下のとおりである。

- (1) 材 料 名：アスファルト再生クラッシャーラン（ARC-40）材
- (2) 製 造 者 名：エイ・エックス（株）山木戸工場
- (3) 試 験 年 月：2022年11・12月
- (4) 試 験 場 所：グリーン・コンサルタント（株）
- (5) 試 験 項 目：ふるい分け試験 (舗装調査・試験法便覧)
ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験 (舗装調査・試験法便覧)
土の液性限界・塑性限界試験 (舗装調査・試験法便覧)
突固めによる土の締固め試験 (舗装調査・試験法便覧)
修正CBR試験 (舗装調査・試験法便覧)
単位体積質量および実積率試験 (舗装調査・試験法便覧)

3. 試験結果

性状試験結果を表-3.1に示す。

表-3.1 性状試験結果一覧

試験項目		試験値	規格値*
通過質量百分率 (%)	53.0 (mm)		100
	37.5	100.0	95 ~ 100
	31.5	95.9	
	26.5	91.3	
	19.0	79.0	50 ~ 80
	13.2	69.1	
	4.75	39.7	15 ~ 40
	2.36	24.9	5 ~ 25
	0.425	10.6	
	0.075	1.6	
最大粒径 (mm)		31.5	40 以下
すりへり減量 (%)		28.9	50%以下
コンシステンシー	液性限界 WL(%)	NP	—
	塑性限界 WP(%)	NP	—
	塑性指数 IP	NP	6 以下
締固め特性	試験方法 —	E-b	—
	最適含水比 (%)	8.4	—
	最大乾燥密度 (g/cm ³)	1.835	—
	最大乾燥密度×0.9 (g/cm ³)	1.652	—
強度特性	試験方法 —	修正 CBR	—
	修正 C B R (%)	51.4	40%以上
単位体積質量 (kg/l)		1.785	—

※規格値は下層路盤に用いる再生路盤材料の品質規格を適用している。

4. まとめ

表-3.1の性状試験結果より、当該アスファルト再生クラッシュラン（ARC-40）材は規格値を全て満足している。

以上

試験データ

合成粒度計算表

アスファルト再生クラッシュラン(ARC-40)[RC-40:グリスリーアンダー材=7:3]

材料配合 篩目(mm)	再生クラッシュラン(RC-40)		グリスリーアンダー材		合成粒度
	70 (%)		30 (%)		
53					
37.5	100.0	(70.0)			100.0
31.5	94.2	(65.9)	100.0	(30.0)	95.9
26.5	88.0	(61.6)	98.9	(29.7)	91.3
19	72.3	(50.6)	94.6	(28.4)	79.0
13.2	62.5	(43.8)	84.4	(25.3)	69.1
4.75	34.3	(24.0)	52.4	(15.7)	39.7
2.36	19.9	(13.9)	36.5	(11.0)	24.9
0.425	10.3	(7.2)	11.3	(3.4)	10.6
0.075	1.5	(1.1)	1.5	(0.5)	1.6

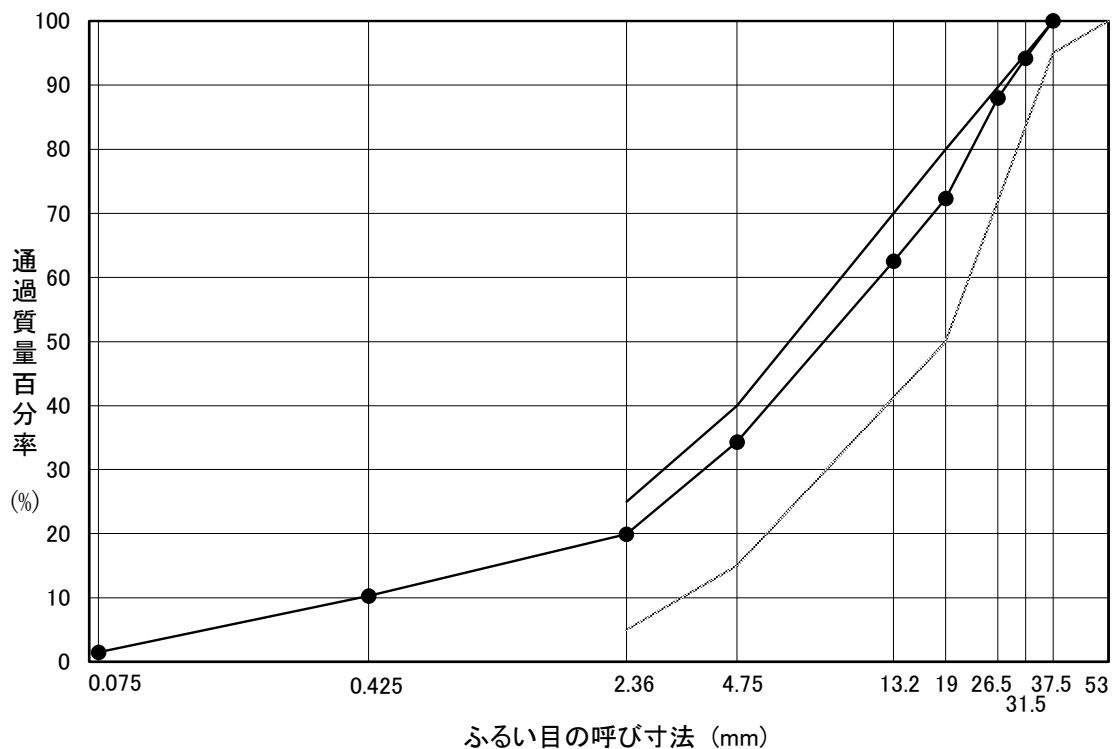
骨材ふるい分け試験

試験用紙
報告

試料番号	再生クラッシュラン(RC-40)	試験年月日	令和4年11月21日
調査名・目的	性状試験	試験場所	グリーン・コンサルタント(株)
試料採取場所	エイ・エックス(株)山木戸工場	試験者	渡辺 正和

乾燥試料総質量 11714.1 g
 残留総質量 11534.7 g

ふるい目の呼び寸法(mm)	残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
53			
37.5	0.0	0.0	100.0
31.5	677.4	5.8	94.2
26.5	1401.4	12.0	88.0
19	3247.9	27.7	72.3
13.2	4396.7	37.5	62.5
4.75	7692.1	65.7	34.3
2.36	9384.7	80.1	19.9
0.425	10507.6	89.7	10.3
0.075	11534.7	98.5	1.5



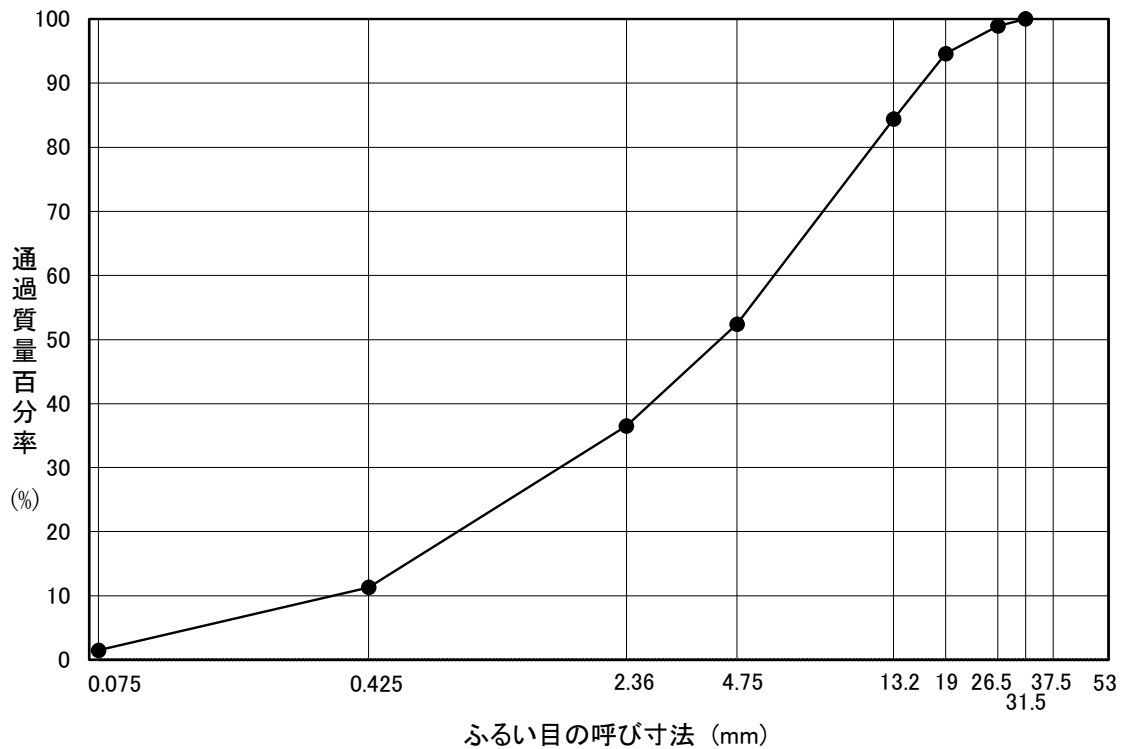
骨材ふるい分け試験

試験用紙
報告

試料番号	グリズリアンダー材	試験年月日	令和4年11月14日
調査名・目的	性状試験	試験場所	グリーン・コンサルタント(株)
試料採取場所	エイ・エックス(株)山木戸工場	試験者	渡辺 正和

乾燥試料総質量	11330.6	g
残留総質量	11159.3	g

ふるい目の呼び寸法(mm)	残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
53			
37.5			
31.5	0.0	0.0	100.0
26.5	124.3	1.1	98.9
19	608.2	5.4	94.6
13.2	1766.5	15.6	84.4
4.75	5391.8	47.6	52.4
2.36	7195.3	63.5	36.5
0.425	10046.6	88.7	11.3
0.075	11159.3	98.5	1.5



ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験	試験 用紙 報告
-------------------------------	----------------

試料番号 <u>アスファルト再生クラッシュラン(ARC-40)</u>	試験年月日 <u>令和4年11月30日</u>
調査名・目的 <u>性状試験</u>	使用場所・目的 <u>下層路盤材</u>
試料の採取場所 <u>エイ・エックス(株)山木戸工場</u>	試験者 <u>渡辺 正和</u>

骨材の種類 <u>砂利</u> 碎石	鋼球の数 <u>8</u> 個
粒度区分 <u>S13 13.2~4.75</u> mm	鋼球の質量 <u>3319</u> g
試料質量 <u>5000</u> g	回転数 <u>500</u> 回

ふるい目 の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度					
	累加残留 質量 (g)	累加残留 質量百分 率(%)	通過質量 百分率 (%)	1			2		
				累加残留 質量 (g)	累加残留 質量百分 率(%)	通過質量 百分率 (%)	累加残留 質量 (g)	累加残留 質量百分 率(%)	通過質量 百分率 (%)
63									
53									
37.5									
31.5									
26.5									
19									
13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
9.5				909.6	18.2	81.8	919.7	18.4	81.6
4.75	5000.0	100.0	0.0	2625.8	52.5	47.5	2585.5	51.7	48.3
2.36				3503.9	70.1	29.9	3465.7	69.3	30.7
1.7				3575.3	71.5	28.5	3541.7	70.8	29.2

すり減り試験結果			
測定番号		1	2
①試験前の試料質量 (g)		5000.6	5000.9
②試験後の試料質量 (g)		—	—
③1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量(g)		3575.3	3541.7
④すり減り損失質量 (g)	①-③	1425.3	1459.2
⑤すり減り減量 (%)	(④/①)×100	28.5	29.2
⑥平均値		28.9	

備考：

調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

試験年月日 2022年 12月 1日

試験者 渡辺 正和

試料番号(深さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

25

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

落下回数

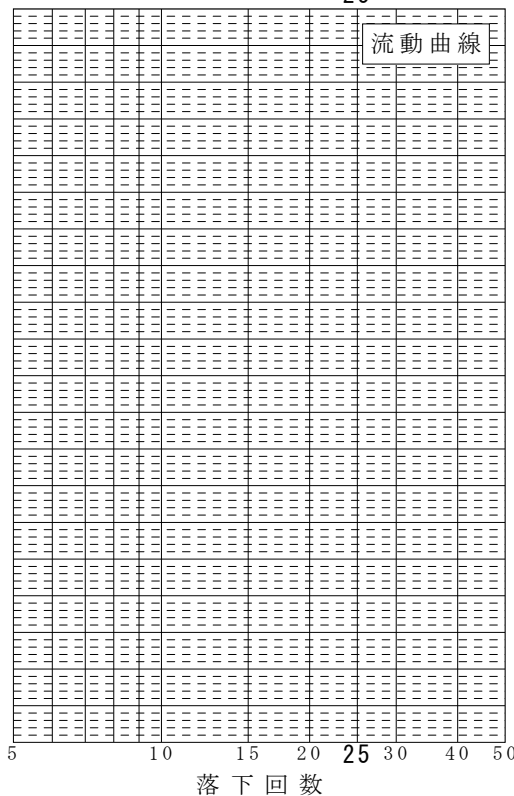
含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P
	NP	NP

含水比 ω (%)



試料番号(深さ)

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

落下回数

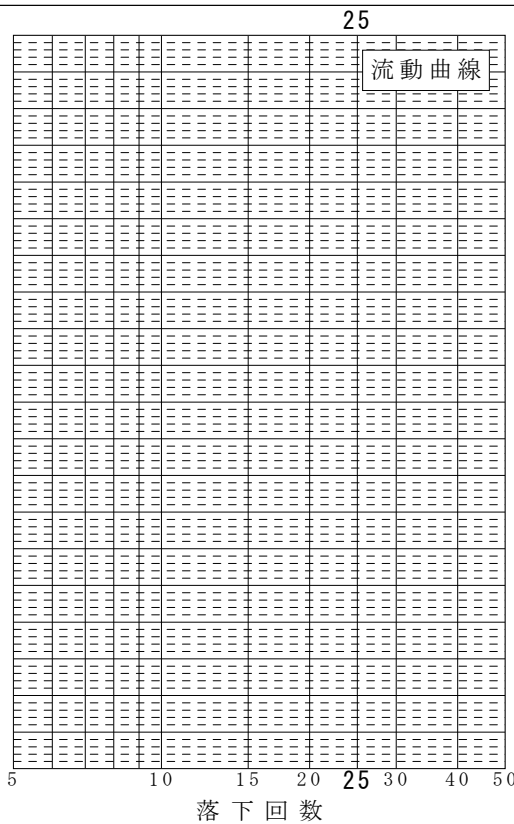
含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P

含水比 ω (%)



特記事項

修 正 C B R 試 験

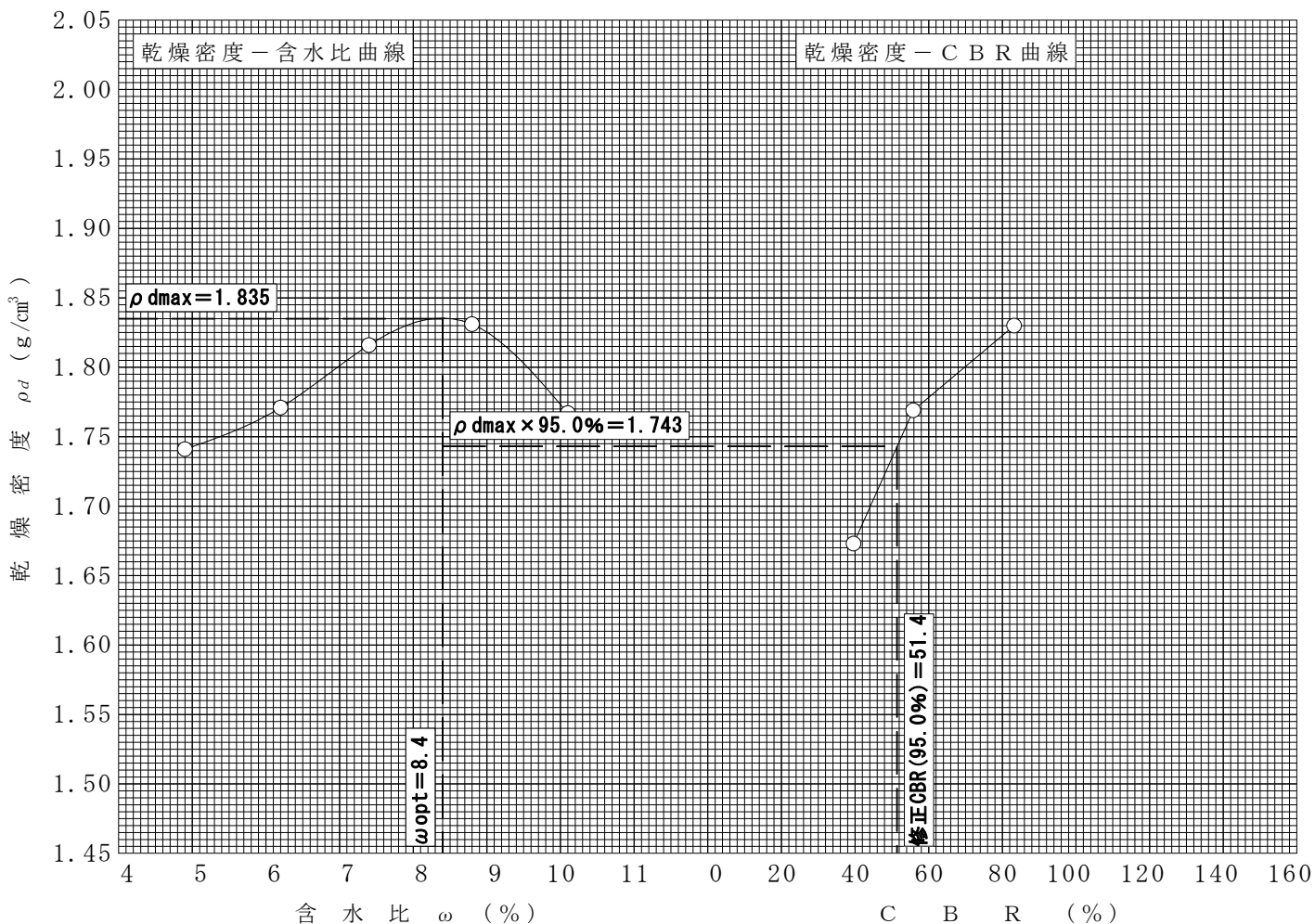
調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

試験年月日 2022年 12月 9日

試料番号(深 さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

試 験 者 渡辺 正和

供 試 体 No.	1			2			3		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3層)			42 (3層)			17 (3層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	1.823	1.837	1.831	1.762	1.775	1.770	1.668	1.672	1.679
平 均 値 ρ_d g/cm ³	1.830			1.769			1.673		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	68.5	63.4	63.4	42.8	45.1	45.4	29.6	30.8	32.3
平 均 値 %	65.1			44.4			30.9		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	88.1	79.7	81.9	53.7	56.0	57.7	37.8	39.2	41.9
平 均 値 %	83.2			55.8			39.6		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³		1.835	締 固 め 度 %		95.0		
		最適含水比 ω_{opt} %		8.4	修 正 C B R %		51.4		



特記事項

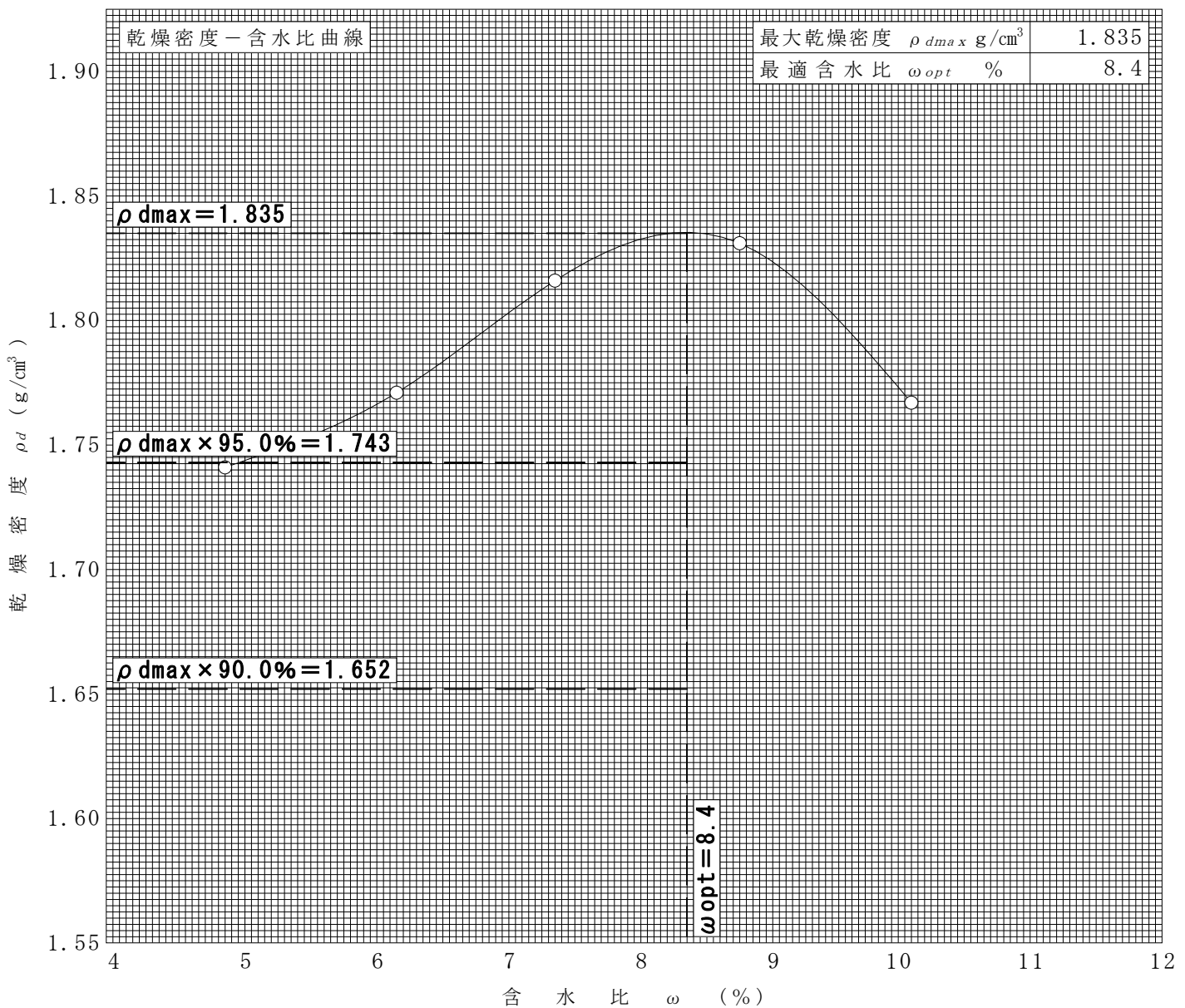
調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

試験年月日 2022年 12月 2日

試料番号(深 さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

試験者 渡辺 正和

試験方法	E-b		土質名称		アスファルト再生クラッシュラン			
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm		37.5	
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	4.9	6.2	7.4	8.8	10.1			
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.741	1.771	1.816	1.831	1.767			



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho \omega}{\rho \omega / \rho_s + \omega / 100}$$

調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

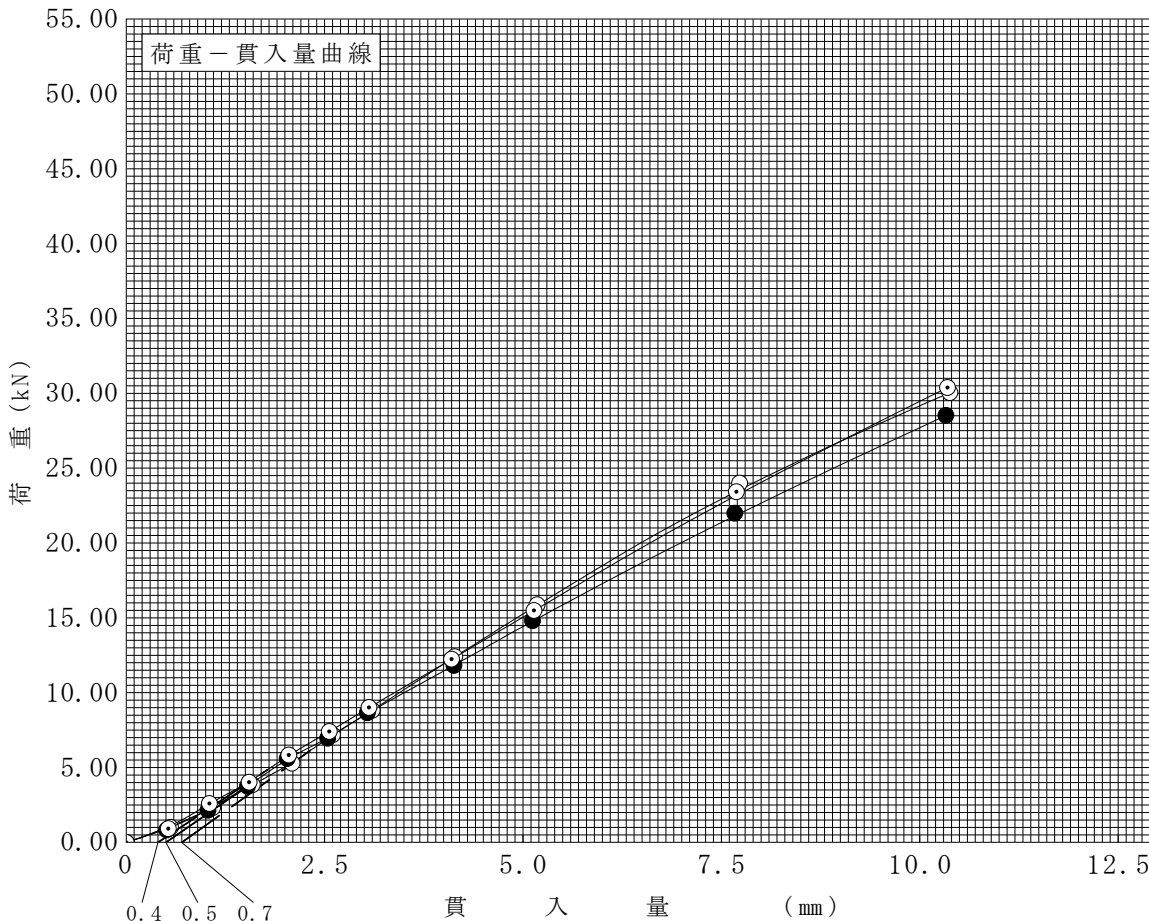
試験年月日 2022年 12月 9日

試験番号(深 さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

試験者 渡辺 正和

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	アスファルト再生クラッシュラン		
突固め方法	E	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%		
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 ω_n	%		
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%		
養生条件	0日 空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³	
	4日 水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5			
供試体 No.		1		2		3		
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	8.2		8.2		8.2	
		乾燥密度 ρ_d	1.823		1.837		1.831	
	後	膨張比 γ_e	0.000		0.000		0.000	
		平均含水比 ω'	14.2		13.8		14.0	
		乾燥密度 ρ'_d	1.823		1.837		1.831	
貫入試験	試験後の含水比 ω_2							
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		68.5		63.4		63.4	
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		88.1		79.7		81.9	
	C B R %		88.1		79.7		81.9	

平均 C B R %
83.2



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重 1	9.175	17.524
荷重 2	8.489	15.864
荷重 3	8.496	16.296
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

試験年月日 2022年 12月 9日

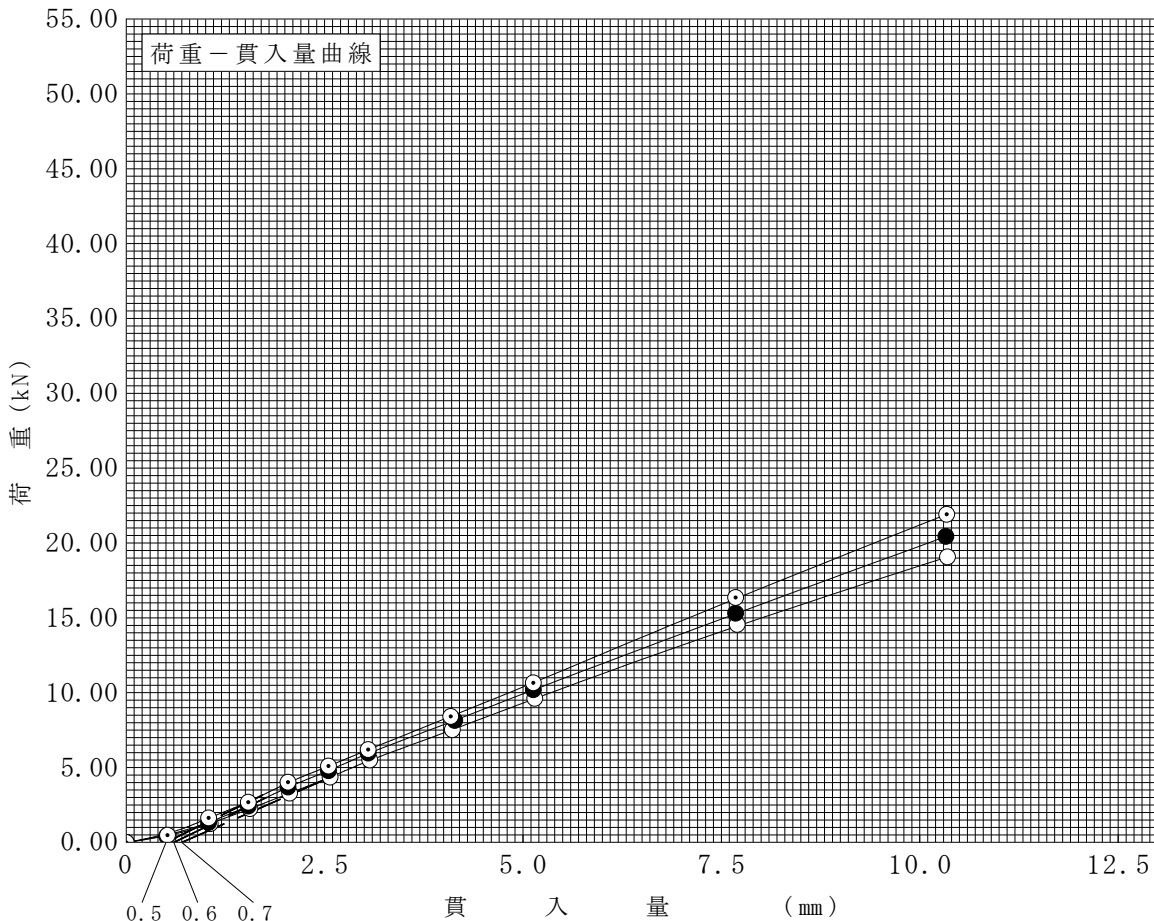
試料番号(深 さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

試験者 渡辺 正和

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	アスファルト再生クラッシュラン	
突固め方法		落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	
養生条件	0日 空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日 水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_i %	8.3	8.3	8.3
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.762	1.775	1.770
	後	膨張比 γ_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 ω' %	16.4	16.5	16.4
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.762	1.775	1.770
貫入試験		試験後の含水比 ω_2 %			
		貫入量2.5mmにおけるCBR %	42.8	45.1	45.4
		貫入量5.0mmにおけるCBR %	53.7	56.0	57.7
		C B R %	53.7	56.0	57.7

平均 C B R %
55.8



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 試体 No.	5.741	10.686
荷 2 試体 No.	6.040	11.140
荷 3 試体 No.	6.084	11.487
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 エイ・エックス(株)山木戸工場

試験年月日 2022年 12月 9日

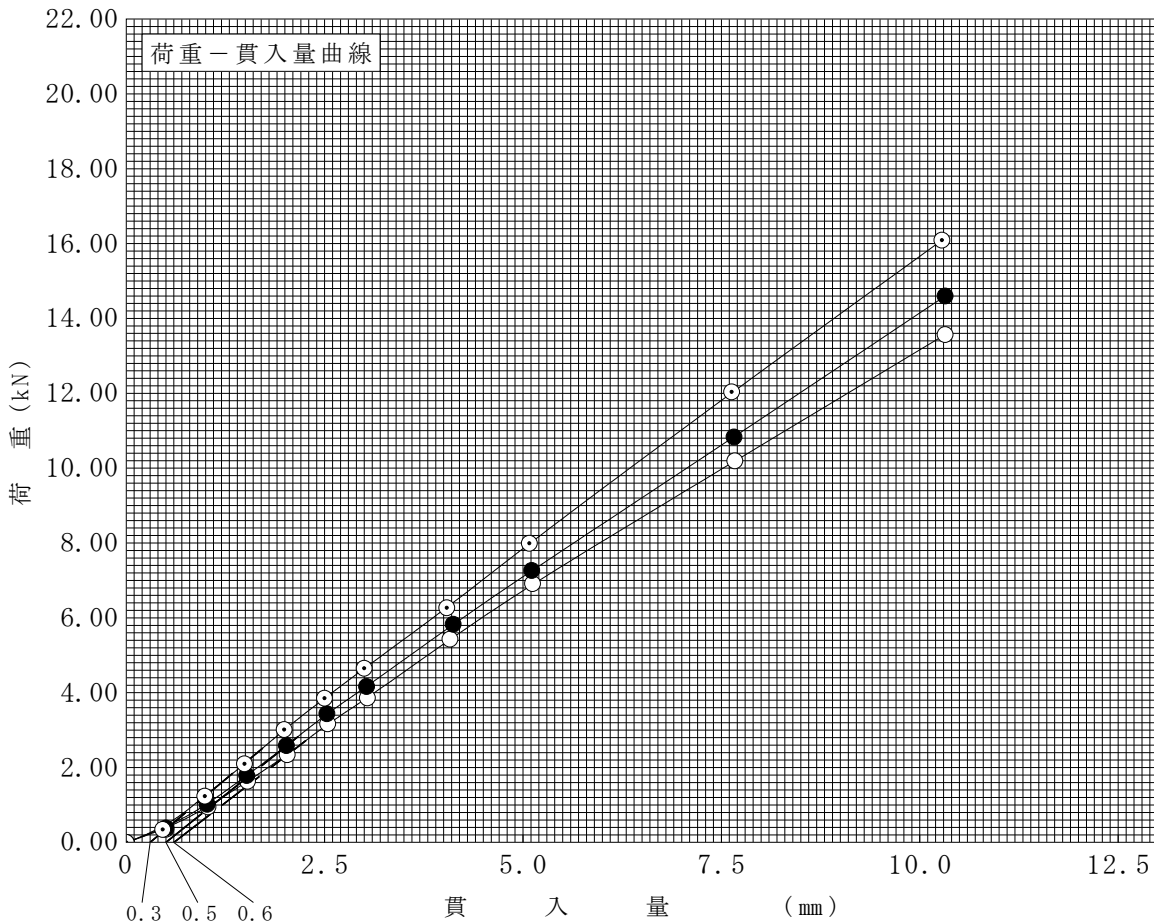
試料番号(深 さ) アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)

試験者 渡辺 正和

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	アスファルト再生クラッシュラン	
突固め方法		落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	
養生条件	0日 空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日 水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_i %	8.2	8.2	8.2
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.668	1.672	1.679
	後	膨張比 γ_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 ω' %	19.1	18.8	18.7
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.668	1.672	1.679
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		29.6	30.8	32.3
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		37.8	39.2	41.9
	C B R %		37.8	39.2	41.9

平均 C B R %
39.6



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

○—○ 1
●—● 2
○—○ 3

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重 1 供試体 No.	3.960	7.526
荷重 2 供試体 No.	4.128	7.806
荷重 3 供試体 No.	4.331	8.334
標準荷重 kN	13.4	19.9

骨材の単位容積質量および実績率試験				
調査名・目的	性状試験		試験年月日	令和4年12月1日
試料名	アスファルト再生クラッシュラン (ARC-40)		使用場所	下層路盤材
採取地	新潟市東区山木戸		試験者	渡辺 正和
製造者	エイ・エックス(株)山木戸工場			
採取年月日			最大寸法	31.5 (mm)
試験日の状態	室温(°C)	湿度(%)	水温(°C)	
	16	42	17	
試料の詰め方	①.棒突き試験 2.ジグギング試験		含水比測定	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
記事	絶乾状態の試料を用いる。			
測定番号		1	2	
① 容器の容積 (l)		9.962	9.962	
② 容器の質量 (kg)		4.271	4.271	
③ (試料+容器)質量 (kg)		22.092	22.003	
④ 容器中の試料質量 ③-② (kg)		17.821	17.732	
⑤ 吸水量を考慮しない単位容積質量 ④/① (kg/l)		1.789	1.780	
⑥ 含水量測定のための試料の乾燥前質量 (kg)				
⑦ ⑥の乾燥後質量 (kg)				
⑧ 単位容積質量 ⑤×⑦/⑥ (kg/l)				
⑨ 平均値 (kg/l)		1.785		
⑩ 平均値からの偏差(百分率) (kg/l)		0.22		
⑪ 表乾密度 (g/cm ³)				
⑫ 吸水率 (%)				
⑬ 実績率 ⑨×(100+⑫)/⑪ (%)				
<p>(1) 試料の含水量が1%以下の見込みの場合は、含水量の測定を省略してもよい。</p> <p>(2) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差0.01kg/L 以下でなければならない。</p> <p>備考:</p>				